

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第12回）		
日時	令和4年8月4日（木） 18:00～20:10	場所	市役所 第2庁舎2階 5・6会議室
出席者	委員：9人 事務局：2人（政策推進課長、市民協働推進係）		

議題	(1) 市民提案型協働事業選考審査 (2) みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証 (3) その他
決定事項	(1) 市民提案型協働事業選考審査 事業名：千歳市ゼロカーボンシティ チトセコ学ばさるプロジェクト 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 継続した取組となるよう、補助期間終了後の取組方法について検討をお願いします。

委員 事業申請者 実施担当課 事務局 附帯意見

会議要旨
<p>(1) 市民提案型協働事業選考審査</p> <p>【事業名】千歳市ゼロカーボンシティ チトセコ学ばさるプロジェクト</p> <p>< 質疑応答 ></p> <p>人件費について詳しく説明をお願いします。</p> <p>（資料に基づき説明）定期ミーティング2時間×17回、第4回学ばさるぐるぐるプログラム作り15時間、第5回ECO事業者教育プログラム作り15時間、SNS画像制作1時間×21回などの内訳を、時給単価1,050円で人件費を計上している。</p> <p>子供に向けた内容となっており、非常に良い取組だと感じた。STEP3で学校の授業に取り入れることになっているが、すべての学校ではなく、一部の学校で取り組むということか。また、学校と協働して取り組むという理解で良いか。</p> <p>採択後に学校と調整することになるので、まずは実施していただける小学校または中学校の1校で実施する予定である。授業について、学校ですでにSDGsの内容を学んでいるので、どのような内容が良いかを学校と協議しながら、教育プログラムを一緒に考えていきたい。</p> <p>子供たちへの教育について、間違っことを教えてしまわないか、世間一般的に行われていることが本当に正しいのかということも含めて、しっかりと考えていただきたい。例えば、電気自動車を例に挙げると、北海道などの寒冷地気候で、電気の抵抗を考えると電気自動車が本当にいいのか、発電したところでCO2を排出しているのに、本当に環境に良いのか。そのようなことを理解した上で、子供たちに教えられる人がいるのか疑問に思うので、そういう点で、もう少し具体的な説明があるとよかった。</p> <p>仰るとおりで、電気自動車が本当にエコなのか、環境問題やSDGsなどを考えると、答えのない状態にあると感じている。今回の事業では、子供たちに答えを教えるということではなく、答えを一緒に考えていく事業として進めていきたいと考えている。子供たちが一生懸命考えて、一生懸命調べるところを、私たちが伴走し、私たちも一緒に考えるという場を作っていきたい。</p> <p>小学6年生が1年目の事業に参加した場合、2年目は中学生になっているので参加できなくなるのか。</p>

冊子を作るメンバーについては、現時点で対象を明確に決めていないが、必ずしも小学生でなければならない理由はないので、中学生でも参加できる可能性はある。

各イベントは連続して参加する必要があるのか。

希望する講座のみ参加することができる。講座はすべて1回ごとに完結する内容とするので途中から参加してもわかるようにし、連続で参加される方には、つながりを学べる内容にしたいと考えている。

環境課以外の課との連携はあるのか。

今回の事業では、授業に取り入れてもらうことを考えているので、教育関係の部署と連携しながら進めていくこととなる。また、必要があれば他の部署と連携していきたいと考えている。

(2) みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証

これまでの議論の結果を踏まえて、条例の見直しの必要性について議論し、提言内容を確認した。

(3) その他

次回推進会議は、9月6日(火)を予定